

お家に帰ってから

楽しく外遊びができましたか？

外でたくさんのものに触れた時は顔周辺をさわらないようにして、お家に帰ったら十分な手洗いとうがいをしましょう。

暑い季節は十分に水分を取って、少し体を休めてください。

汗をたくさんかいたときは、着替えたり、タオルで体をふいたりするとさっぱりしますね。

家に帰ってできるプログラムを紹介します

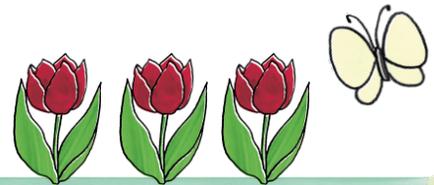
- 集めてきた葉っぱや小枝、木の実などをそれぞれ分けて比べてみましょう。丸いもの、ギザギザのもの、表面がツルツル、ふわふわした毛があるもの、どんな色をしているかな、どんなもようがあるかな、硬さはどうだろう、匂いはするかな、それぞれの特徴を探して分けてみましょう。100円ショップなどの簡易虫メガネがあれば、細かな違いを楽しむこともできます。
- 集めてきた葉っぱの名前を調べてみましょう。葉っぱの形、葉の縁の様子、葉のつきかた等から検索できて、写真で確認できる無料サイトがありますので、調べてみましょう。写真を撮るだけで名前を出してくれるアプリもありますが、葉っぱの特徴をみながら調べてみましょう。
- 葉っぱカードを作ってみましょう。葉っぱの上にコピー用紙などの少し薄い紙をのせ、色鉛筆やクレヨンで上から押しつけないようにして軽くこすります。葉っぱの形や葉脈が浮き出てきます。調べた名前や特徴を書いて集めると自分だけの図鑑になります。
- 集めてきたもので顔や動物などを紙の上に作ってみましょう。出来上がったなら何を言っているか考えてみてください。字を書ける年齢ならセリフを書き込んでも楽しいですね。
- お家の中にある木でできたものを探してみましょう。木のように見えるけど本当に木かな？木のように見えないけど、紙や本のように木を加工してできたものもあるよ。NHK for Schoolの動画も公開されています。

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005311058_00000&p=box

季節を変えて出かけよう

いつも見慣れた公園の樹木ですが、春夏秋冬季節によって葉っぱの色、様子が変わります。

時にはひと月で大きな変化がある樹木もあります。同じプログラムでも季節によって集められるものも変わります。お気に入りの木を見つけて名前をつけたら、その季節ごとにどんな変化があるかを記録していくと、おどろくような発見があるかもしれません。



LEAFプログラムについて

森林環境教育LEAFプログラムは北欧で生まれた自然体験学習プログラムです。身近な自然を手にとってじっくり観察したり、五感をフルに使って体感したりすることを通じて、子どもたちが自ら考え、主体的に関わることを大切にしています。皆さんの近くの公園にもたくさんの種類の木や草があり自然を楽しむことができます。子どもだけでなく大人でもたくさんの発見ができるプログラムです。ぜひチャレンジしてみましょう。